

九条の樹

114号
2025年11月発行



発行：東久留米「九条の会」 連絡先：Tel 042-473-9489（鈴木）
<http://higashikurume-9.net/> メール：higashikurume9j@gmail.com

世界にひろがれ 憲法9条 伊藤千尋さんのおはなし

10月11日、東久留米九条の会20周年のつどいでの伊藤千尋さん（元朝日新聞記者、九条の会世話人）の講演を要旨です。



20周年おめでとうございます。20年続けるのは大変です。

九条の会は2004年に作家の大江健三郎さんから9人の呼びかけで始まり、最盛時には全国7500以上ありましたが、高齢化やコロナの影響もありまして少し減りましたが、改憲の動きもあり減ってる場合じゃありません。

イスラエルはなぜ攻撃する？

ポーランドに行きました。ご存じのようにアウシュビッツ収容所では多くのユダヤ人がガス室で殺されました。そのユダヤ人の国家イスラエルが今、パレスチナ人を虐殺しています。これまで6万7千人のパレスチナ人が殺されています。

イスラエルがなぜそういうことをやるのか。教育のせいです。イスラエルでは小学生に旧約聖書創世記を丸暗記させています。「主（神）はエジプトの川からユーフラテスにいたるまでの地をあなたの子孫に与えると言った」。サウジアラビアやイランなども含みます。これを1948年イスラエル建国以来、ずっと学校教育で教えています。この土地を取り返すんだ、という意思で兵隊は戦うのです。今、ガザやヨルダン川西岸と言ってますが、それにとどまらない。ここで軍国少年、少女が生まれます。どっか

で聞いた話です。戦前の日本の大東亜共栄圏にそっくりです。イスラエルは徴兵制ですが世界でも徴兵制は少ない。普通は男子だけがイスラエルは女子にもある。18歳になったら、男も女も全員兵隊になる。男は3年。女は2年です。18、19、20の年代は人生で一番楽しい時期です。その時期兵隊になって人殺しをやらされる。あるいは自分の命がなくなるかもしれない。

すすむ日本の軍備拡大

戦争はイスラエルでも、ウクライナでも憎しみの連鎖を残します。戦争が終わっても、憎しみは子や孫まで続きます。だから本当は戦争をやっちゃいけない。日本では80年前に、もう戦争は止めようという決意になり、平和憲法に結実しました。ところが80年たって世界が大きく変わってきている。トランプは国防総省を戦争省という名前にして、戦争する気なんです。アメリカは世界の軍事力の半分以上を占めています。

日本はどうか。石破前首相は軍艦をオーストラリアに輸出する。武器を買ってもらう。日本の軍事化が進

んでいます。九州の南に南西諸島があります。この島々はミサイル基地に代わってきました。コロナの間に。その島々を回ってきました。与那国島にレー

ダー基地ができ、宮古島にはミサイル基地ができました。石垣島の基地は自民党市議が持っていたゴルフ場、幸福実現党が持っていたレストランを防衛省が買い上げてミサイル基地を作りました。ここから中国にミサイルを撃ったら打ち返されるでしょう。基地の周りは民家がいっぱいです。戦争になったら、ここがウクライナみたいになるんです。

自民党政府は抑止力だと言って防衛費を増やしています。日本の防衛費はちよつと前まで年間5兆4千億円だったんですがそれじゃ足りない2倍の11兆にしようとか8兆8千億円。福祉や医療費が足りないと言っているのんです。中国の軍事費は37兆円です。アメリカは135兆円。中国はアメリカに対抗しようとしてさらに増やそうとして

います。その中国に対抗しようが増やそうとすればきりがありませんし不可能です。

日本を戦後賠償から救った人

スリランカの元大統領ジャヤワルダナという人を知っていますか。第2次世界大戦が終わったとき、日本と戦ったアジア、欧米の国々の代表がサンフランシスコに集まって戦後の日本をどうするか話し合った。「日本が二度と立ち上がれないように多額の賠償金を取ろう」断ち切らなければという意見の多い中でこの人は「みなさんは日本が二度と立ち上がれないようにしよう、と言っているがそれはいいけない。そんなことをすれば、憎しみの連鎖を続けることになる。再び戦争になる。憎しみの連鎖は愛によってのみ断ち切ることができると言ったのです。「私たちの国スリランカも日本から爆撃など攻撃を受け大変な被害を受けた。だから戦時賠償を受ける権利があるが私たちは、それを放棄します。日本に

は早く立ち直ってほしい。私たちと一緒に世界の平和をつくり上げる仲間になってほしい」という演説をし、それを聞いた各国代表は立ち上がって拍手し、そこから流れが変わりました。戦後日本がいち早く復興したのは働いたお金を各国の賠償に支払わなくてよかったからです。そして高度成長に向かうことができました。この人の顔は中学校の教科書に乗せるべきです。80年たつと完全に忘れられます。スリランカに行くと皆この人のことを知っています。観光で行く日本人は誰も知らない。こういう人はヨーロッパにもいました。第2次大戦が終わったときシューマンというフランスの外務大臣が「20世紀は戦争の世紀だったといわれる。戦争を起こしたのはどこの国かというドイツとフランスだ。仲の悪い隣り合った二つの国が戦争を始めてそれがワーツと広がっていった。ということはドイツとフランスが仲直りしたら少なくともヨーロッパから戦争はな

くなる。起きにくくなる。と言って彼は提案しました。戦争に欠かせないものが二つある。一つは鉄。もう一つはエネルギー、当時は石炭です。戦争に欠かせない鉄と石炭。これをドイツとフランスで共同管理しよう。ドイツは乗ってきました。

ベルギー、オランダ、イタリアなど6つの国が1952年欧州石炭鉄鋼共同体を作りました。各国は鉄石炭の生産量、武器に回した量を報告しあうというものです。それによって信頼関係が生まれました。それまでは発表しないから疑心暗鬼陥る。その関係が変わってきて、それが欧州経済共同体に発展し、今の欧州連合になりました。パスポートも通貨も共通です。この関係は40年かけて作られました。戦争しない仕組みがヨーロッパでできました。これをアジアでやればいいのです。日本、中国の間でやればいいのです。40年かければできるんです。

戦争反対！

9・15

スタンディング

―市内10か所に108

名の参加―



9月15日、「東久留米戦争はイヤ！声をあげよう実行委員会」は、11時から12時まで市内10カ所で「戦争はイヤだ！」「戦争は絶対してはならない」の宣伝を行い、108名が参加しました。永田・村山・鴨志田市議も参加してスピーチしました。元全労連事務局長の坂内さんも参加しスピーチを行いました。

上の原3人、マルエツ前8人、

駅東口10人、北口10人、西口27人、ヨーカドー前12人、クルネ前17人、イオン前12人、ヤオコー前8人。計108人の参加でした。

「今、軍事費が急速に増やされています。ステルス戦闘機やトマホークなどを爆買いしています。さらにトランプ政権は、軍事費を、国内総生産比で3・5%（22兆円）に引き上げると要求してきています。軍事対軍事では戦争への危険が高まるば

かりです。東南アジア諸国連合のように、どの国とも対話して紛争を未然に防ぐことが大事。軍事費が膨張すると、社会保障などくらしの予算はけずられる一方になります。

今、物価高で多くの国民が困っています。予算は、軍拡ではなく、くらしにまわせ！ 防衛省は、射程1000キロのミサイル基地を、今年度中に熊本市に設置。さらに、27年度中に、2000〜3000キロ（北京に届く）のミサイル部隊を富士駐屯地、北海道の上富良野、宮崎県のえびの駐屯地に設置。艦船からの発射と、戦闘機からの発射のミサイル基地を横須賀と茨城県の百里基地に設置すると発表。まさに日本全土にミサイル基地。日本全土が標的にされます。日本全土へのミサイル基地設置はやめろ！の声をあげましょう」など、訴えました。



戦争体験記

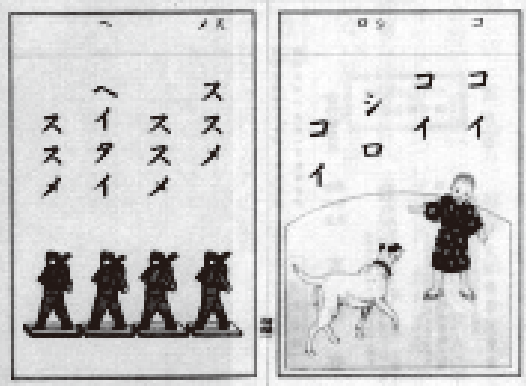
教育と九条

津田 良市

サイタ サイタ サクラガ
サイタ

(男はパツと咲いてパツと散れ
コイ コイ シロ コイ

(日本の国を広める取れ取れ)
ススメ ススメ ヘイタイ ス



スメ

(敵を作っても侵略せよ)

此れが文部省初等科、国語読
本教科書である。七十数年前
の事、今でも頭のすみに残っ
ている。

アツツ島 マキン タウワ
クエゼリン ウオット サ
イパン テニアン グラム
ベリリウ島等々、又大陸で、
ニューギニヤ インパール
沖繩 玉砕というきれいな事

ではなく、全滅、皆殺されである。

涙の実態である。戦陣訓 生

きて虜囚の辱しめを受けず

その元凶が、戦後MPが戦犯

として逮捕に行った時ピスト

ルの音がした。ふみ込むと死

にいたらない処をうちたおれ

ていた。後に回復した。軍人

ならどこをうてば死ぬか知っ

ているはず。自ら虜囚となり

後死刑になる。

我ら学徒兵、自ら志願した

とは言え、あまりにも思い出

すとつらい。各家庭から、鍋釜、

お寺の鐘まで供出し、食べ物

のない所で戦わされた。その

兵がなんと差別されていた。

甲種、乙種、丙種とお米の配

給まで差別がありました。敵

性の英語は使ってはならない、

軍国少年に賜ったのは、戦後

一億総ざんげ、さてそれから

が大変。

閑話休題、子供と年寄りを

大切に。戦前、戦中、戦後苦

労した年寄りを大切にしなけ

ればいけない。国民の生命と

財産を守る防衛省、どうぞイー

ジス艦、クラスタ爆弾、ミ

サイルの費用を子供と老人達

へ。米国へ思いやりするなら

足元の沖繩へ、日本人へ。

九条を世界の人々へ。

合掌

《平和を考える本》

『海よ光れ！ 3・11 被災者
を励ました学校新聞』

(田沢五月・作/国土社)



1540 円 (税込み)

岩手県山田町立大沢小学校
にはふたつの宝があった。ひ
とつは「海よ光れ」という全
校生徒で演じる表現劇。もう
ひとつは同じタイトルの高学
年で作る学校新聞。

後者は、毎年「全国小・中
学校・PTA新聞コンクール」
で上位入選を果たしてきたが、
2011年は毎日小学生新聞
賞と名誉大賞を受賞。執行部
の生徒たちは上京して、3月
5日の表彰式に臨んだ。

東日本大地震が発生したの
は、その6日後のことだった。

小学校は避難所になり、子
どもたちは掃除を手伝ったり、
避難している人々の肩もみを
したりしたが……。自分たち
が得意とする新聞を使って役
に立てることはないか、と考
えた。

(高田桂子)